

E4DSL の つかいかた.

細合 晋太郎

# Eclipse SDK 4.0の環境構築

- Eclipse SDKのDL
  - <http://www.eclipse.org/eclipse4/>  
からEclipse SDKをDLして解凍, workspaceの設定等済ませておく
- Plugin のインストール
  - e4 package  
Help > Install New Software  
Work with: からe4update Siteを選択し, ServerFeature以外(または全選択)しインストール
  - Xtext, Xpand  
Help > Install New Software  
Work with: Helios -  
Modeling > Xpand SDKと, Xtext SDKにチェックを入れインストール,  
必要に応じてSubversionなども入れておく

## プラグインとプロジェクトのインポート

- \*e4dsl.jarと\*e4dsl.ui.jarをeclipseをインストールしたフォルダのdropins/plugins/に配置する
- Eclipseを起動し、プロジェクトエクスプローラ右クリック、Import, General > Existing Projects into Workspace.  
Select archive fileからe4dsl\_generator.zipを選択し、インポートする。
  - 必要に応じて、e4dsl.zipのプロジェクトもインポートしておく

## sample projectの作成

- New > Project, e4 > e4 Application Projectでプロジェクトを作成
- プロジェクト名は”e4app”としておく, (変更する場合は, generatorプロジェクトの
  - /src/templates/Extensions.ext
  - /src/workflow/E4DslGenerator.mwe2のプロジェクト名の箇所も変更する必要がある.)
- その他のオプションはそのままでウィザードを終了
- e4app.productを開き, ”Launch an Eclipse application”をクリックし一度アプリケーションを実行しておく

# 依存関係の追加

- 以下の依存を追加しておく
    - org.eclipse.e4.tools.emf.liveeditor
    - org.eclipse.e4.xwt
    - com.ibm.icu
    - org.eclipse.e4.core.di.extensions
    - org.eclipse.e4.xwt.css
    - org.eclipse.e4.xwt.ui.workbench
- 下5つは, plugin.xmlで追加するか,  
一度XWT Static Partを新規追加すると自動的に追加される.
- 依存関係を追加した後は, 実行の際にRun Configurationsを開き, Plug-insタブでAdd Required Plug-insを押してApplyしておく

# E4DSLの実行

- generatorプロジェクトの実行
  - /src/model/Example.e4dslを開いて適当に編集
  - /src/workflow/E4DslGenerator.mwe2を実行すると, e4appプロジェクトが更新される.
  - この際元からあったファイルは上書きされるので注意.
- e4appの実行
  - 再度アプリケーションを実行すると, Part部などが変更されているのが確認できる.
  - e4dslの文法や生成コードについては, ~~ソース読んでください~~ ~~い~~. まだ固まってないのでドキュメント化はお待ちください.